

2024年7月12日

購入先各位

オムロン株式会社
グローバル購買・品質・物流本部
品質監査室 室長
田見 誠

PFAS(有機フッ素化合物)の調査に関するご協力お願い

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素はオムロングループのグリーン調達の取り組みにご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

弊社（オムロングループ会社を含む）は、米国・欧州でのPFAS(有機フッ素化合物)の規制化の動きに対し、弊社製品への影響の評価と、規制が実施された際に代替期間を確保するため、PFASの含有情報を把握したいと考えております。

【背景・目的】

PFASは、あらゆる有機フッ素化合物を総称する物質群の名称です。米国環境保護庁(EPA)によると、PFASは約12,000種類あるとされています。PFASは、耐薬品性、非粘着性、電気絶縁性、撥水性など有用な特性を付与するために、数多くの部品・製品で使用されています。

一方で、PFASは化学的に分解し難く、環境中に長期間残留することから、予防的観点で、PFAS全体を規制する動きとなっております。具体的には、米国で有害物質規制法(TSCA)8条(a)(7)が施行され、PFASを含有した製品は、環境保護庁(EPA)に報告することが求められます。また、欧州では、REACH規則の下でPFASを包括的に規制することが公表されており、現在規制内容の議論が進められています。

上記の規制化の動きに対応するため、電機・電子機器業界において、製品に含有するPFASを把握するため、アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)が、データ作成支援ツールであるchemSHERPA ver.2.07から、数千種のPFASを収載しました。

つきましては、以下の記載事項に基づいてご対応頂きますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

弊社から調査依頼がありましたら、成分情報と遵法判断情報のいずれもご記入の上、chemSHERPA ver.2.07以降で回答をお願いいたします。すでにchemSHERPA ver.2.07以降でご回答済みの場合は、改めて実施して頂く必要はございません。

敬具